

認知症になっても身近な地域で暮らしていきたい 反射ステッカーを見たら声かけを！

高齢化社会の中、2025年には65歳以上の5人に1人が認知症と診断される時代になると予想されます。誰もが認知症になる可能性があり、認知症かなと思われる方と接することも多いと思います。

認知症状(もの忘れ等)があっても周りの人の言葉がけと、少しの支援があれば出来ることがたくさんあります。

症状のご理解をお願いします

(1)記憶障害

新しいことを記憶できず、ついさっき聞いたことさえ思い出せないときがあります。昔のことをお話される場合があります。

(3)実行機能障害

買い物で同じものを購入してしまう、物事を並行して行うことが難しくなってきます。予想外の変化にも柔軟に対応できないなど、物事をスムーズに進められなくなることがあります。

(5)失語・失行・失認

言葉がうまくでてこなかったり、目的とする動きができないことがあります。

こんにちは。
どちらへ行かれますか？



(2)見当識障害

時間や場所、季節感の感覚が薄れ、道に迷ったり遠くに歩いて行こうとしたりすることがあります。

(4)理解・判断力の障害

思考スピードが低下して、二つ以上の話が理解が出来なくなったり、いつもと違う出来事に混乱しやすくなります。

(6)感情表現の変化

その場の状況がうまく認識できないことがあります。



『反射ステッカーを見かけたら声をかけてください』

ご本人には安全な場所にいていただき、すぐに下記の連絡先までご連絡ください。

道に迷う可能性のある方が靴や杖等にステッカーを貼っていることがあります



・東御市地域包括支援センター：電話 0268 - 64 - 5000

・上田警察署 電話 0268 - 22 - 0110



ゆっくり・はっきり・

1つずつお話していただくと良いですね。